

フランス発モダンジュエリー「ジェミオ」 シグネチャーコレクションに新たな輝きを ブラウンダイヤモンドを纏った新展開



Gemmyo(ジェミオ) =東京都港区、代表: シャリア・デベス

ら着想を得た象徴的なデザインはそのままに、新たにブラウンダイヤモンドのパリエーションを展開している。 「Paris 1901」は、控えめなエレガンスや美しさを湛え、それでいて自然体で輝く、そんなパリの美しい意識を体現したコレクション。19世紀のパリを彩ったオスマン様式建築からインスピレーションを得て、整然と並ぶ石造りのファサードに映る繊細な光の陰影など、パリの街並みに思づく端正な美しさをジュエリーへと昇華。規則的なラインと均整の取れたフォルムが織りなすデザインは、静かな気品とモダンな佇まいを兼ね備えている。

リングは重ねづけを前提に設計しており、複数本を組み合わせて立体感や奥行きを演出。すべてフランス国内のアトリエにて受注生産され、メゾンのクラフツマンシップが、一点一点丁寧に息づいている。 「Paris 1901」は、ジェミオを象徴するシグネチャーコレクションのひとつ。フランス国内での製造にこだわり、メゾンが大切にしてきたサヴォアフェールを体現するシリーズとして展開されている。 今回の刷新は、コレクションの本質を変えるものではなく、これまで築いてきたデザインコードはそのままに、素材のパリエーションを広げることで、より自由に多様な表情を楽しめるコレクションへと進化させた。

近年、ジュエリー業界を取り巻く環境は確実に変化しています。とりわけ顕著なのが、プラチナや金といった貴金属価格の高騰です。国際資源価格の上昇と為替の影響が重なり、結婚指輪の原材料コストはここ数年で驚異的に上昇しました。 「結婚指輪はプラチナ」という文化は我が国では広く定着していますが、若い世代の経済環境は決して楽観できるものではありません。物価上昇と生活コストの増加のなかで、結婚指輪を簡素化したり、指輪そのものを購入しない選択をするカップルも増えてきました。結婚指輪が高価すぎるという理由で購入を諦められてしまう状況は、ジュエリー業界にとって看過できない問題と捉えられます。結婚指輪は単なる装身具ではなく、社会文化の一部はずだからです。 こうした背景のなかで、2026年4月、弊社はジュラルミン製の結婚指輪を発売します。ジュラルミンは航空機材料として知られるアルミニウム合金であり、軽量で高強度という特徴を持っています。今回のリングはベアで10万円以下という価格設定で、貴金属のベアリングと比較すると大幅に手の届きやすい価格帯に位置する。この試みの本質は、「安価な素材を提案する」という単純な話ではありません。むしろ、「価格が理由で結婚指輪を諦めるカップルを救済する」という思いが込められています。

口にしたいという発想にあります。結婚指輪の文化を次の世代へ繋ぐためには、価格という壁を越える新しい選択肢が必要なのかもしれません。金、アルミ、プラチナ、ダイヤモンド、パール、ジュラルミン、これらすべてを組み合わせることで、新しい結婚指輪の選択肢が広がります。ジュラルミンはアルミとジュラルミン合金で、適切な表面処理を施すことで皮膚刺激が適切に抑えられ、素材として知られています。すべての人に完全無反応とは言えないものの、アレルギーリスクの低い素材として、一定の可能性がある素材であることは間違いありません。この素材の本質は「軽金属」という言葉から想像されるほど単純ではありません。硬度と粘り強さを併せ持つ特殊な材料です。そのため、ジュエリーとして美しいカットや研磨面を作り出すことは決して容易ではありません。ジュラルミンは軽量でありながら、硬度と粘り強さを併せ持つ特殊な材料です。そのため、ジュエリーとして美しいカットや研磨面を作り出すことは決して容易ではありません。ジュラルミンは軽量でありながら、硬度と粘り強さを併せ持つ特殊な材料です。そのため、ジュエリーとして美しいカットや研磨面を作り出すことは決して容易ではありません。



木村さんのひとり言 株式会社輪代表取締役 木村 亮治 mail to: yogi.kimura@gmail.com

結婚指輪の新たな選択肢 ジュラルミンリングが問いかけるもの

口にしたいという発想にあります。結婚指輪の文化を次の世代へ繋ぐためには、価格という壁を越える新しい選択肢が必要なのかもしれません。金、アルミ、プラチナ、ダイヤモンド、パール、ジュラルミン、これらすべてを組み合わせることで、新しい結婚指輪の選択肢が広がります。ジュラルミンはアルミとジュラルミン合金で、適切な表面処理を施すことで皮膚刺激が適切に抑えられ、素材として知られています。すべての人に完全無反応とは言えないものの、アレルギーリスクの低い素材として、一定の可能性がある素材であることは間違いありません。この素材の本質は「軽金属」という言葉から想像されるほど単純ではありません。硬度と粘り強さを併せ持つ特殊な材料です。そのため、ジュエリーとして美しいカットや研磨面を作り出すことは決して容易ではありません。ジュラルミンは軽量でありながら、硬度と粘り強さを併せ持つ特殊な材料です。そのため、ジュエリーとして美しいカットや研磨面を作り出すことは決して容易ではありません。

は、日本が世界に誇る精密加工技術はもうひとつ、弊社が取り組んできたすべての経験とスキルを注ぎ込んで、なかなか前に進むことはできなかったのです。そして、ここで見失ってはならないのが、日本の宝飾業界が抱えるもう一つの問題、職人不足という現実です。 現在、宝飾加工現場では熟練職人の高騰化が進み、若い世代の担い手が十分に育っていません。若い職人が続かない状況は、結果として、長年にわたり加工賃が抑えられてきた結果、匠と呼ばれる宝飾職人の生活が必ずしも豊かとは言い難い現実もあります。このままでは、日本が長年培ってきたジュエリー文化そのものが徐々に衰退してしまう可能性も否定できません。ジュラルミンという新素材も、真面目に取り組むというだけでは、単なる素材の置き換えに留まりません。従来の宝飾職人を持つ金属加工と異なり、試作と失敗を繰り返しながら加工方法を確立していく、極めて地道な挑戦だったのです。実際、ジュラルミンを結婚指輪の品質で仕上げるとは、従来の貴金属加工とは異なる技術的工夫が必要になります。切削、研磨、表面処理、耐久性を確保するための工程で、弊社の職人達は試行錯誤を重ね、次世代の指輪を完成させました。その苦労は、外からはなかなか見えませんが、決して小さなものではなかったはずで、この新素材リングが市場に定着するならば、確実に安価な結婚指輪が増えるという意味は、日本にはなならないと信じています。むしろ、日本の高度な加工技術と職人文化を新しい形で次世代へ受け継がれる可能性があるのではないかと期待しています。

最後にラウ氏は「新たな取り組みやアイデアが生まれており、今後数ヶ月はカラーストーン業界にとって興味深い機会がもたらされることに期待します」と述べた。 ICA Plusは9月19日のウェルカムレセプションで幕を開け、続くカンファレンスを通じて、出展者・貿易バイヤー・宝石起業者・ジュエリーデザイナーが交流・協業し実践的知見を得るダイナミックなプラットフォームとなることが見込まれている。参加費はUS\$500。

ラグジュアリー市場が大きな変革期にある中 次世代の消費者を惹きつけるには、次世代の宝石専門家に光を当てる 香港発、色石を中心にしたプログラムがスタート



【香港、3月6日】世界有数のB2Bジュエリーイベント「ジュエリー&ジュエリー アジア 香港 (JGA)」(6月)と「ジュエリー & ジュエリー ワールド 香港 (JGW)」(9月)を主催するインフォーマ・マーケット・ジュエリーは、6月と9月のイベントの今年のハイライトは、カラーストーンが中心になる見込みで、カラーストーン業界にとって新たな幕開けになると、3月6日付で発表した。 それによると、JGAとJGWの開催に先立ち、カラードジュエリー産業の多様性、活気、コミュニティ精神を

強調する3つの刺激的なプログラムがスタートする。 これらは、ICA (International Colored Gemstone Association)とインフォーマ・マーケット・ジュエリーが共同で主催するもので、先ず9月19日~21日の3日間にカンファレンス「ICA Plus」が開催される。 「ICA Plus」は、カラーストーン業界における世界有数のネットワークイベントだとしている。約50カ国からICA会員と業界の主要関係者が一堂に会し、充実したプログラムが提供される。そして「NextGen Coloured Gem Excellence Awards」と、「Gender-Fluid Coloured Gem Jewellery Design Challenge」の2つについて壮大なプレゼンテーションが行われるようだ。 ジュエリーフェアのディレクター、セリーヌ・ラウ氏は「これらのイベントは、業界の3つの重要な側面に取り組むことでカラーストーンにスポットライトを当てます。中国や東南アジアなどの市場における需要の機会の開拓と、バイヤーが革新的かつダイナミックな方法で関わる方法を探索する。それは、カラーストーンの多様性と創造的可能性を強調する強力な媒体としてのデザインを称賛すること。そして業界を牽引す

る次世代リーダーの育成です」と説明し、これらの取り組みは、「有意義な対話の触媒となり、革新と協働を促進します」と強調した。 さらに「カラードジュエストーンにとってのこの重要な瞬間は、ICA Plusの香港初開催によって象徴され、アジアを機会の中心地として位置づけている。ICAの隔年開催の会議は、カラーストーン業界にとって権威あるフォーラムとしての役割を果たしているが、ICA Plusは、マーケット需要の見通しやライブ販売チャネルから、宝石の購入や所有に対する姿勢が前世代とは異なる新世代の消費者の嗜好の変化に至るまで、アジア特有のダイナミクスに焦点を当てた、より地域に焦点を当てたプラットフォームを提供する」と、ラウ氏は補足した。 それに続く注視すべき点として「NextGen Coloured Gem Excellence Awardsは、補完的な意味合いを持つものとして、業界の未来へのビジョンを体現し、リーダーシップを発揮する次世代の宝石専門家に光を当てます。Jewellery World Awards (JWA)の不可欠な要素であるこのプログラムは、深い象徴的な意味合いを持っていて、その主な目的は、リーダーシップのスムーズな移行を促進し、

貴重な知識を継承し、次世代の消費者を惹きつけることで、業界の長期的な成長を確保することです。ラグジュアリー市場が大きな変革期にある中、私たちは現代のトレンドに適応しながら、今後10年、20年、そしてそれ以降も持続可能な成長を確保することに重点を置いています」と説いた。 一方、Gender-Fluid Coloured Gem Jewellery Design Challengeは、2つの柱を持つ取り組みです。1つ目は、ジュエリー市場を普遍的で包括的なものとして拡大し、従来の固定観念を打ち破り、より幅広い層にアピールすることです。2つ目は、カラーストーンを自己表現の素晴らしい媒体として称賛し、眼界を押し広げ、創造性を刺激することです」と、付け加えた。 最後はラウ氏は「新たな取り組みやアイデアが生まれており、今後数ヶ月はカラーストーン業界にとって興味深い機会がもたらされることに期待します」と述べた。 ICA Plusは9月19日のウェルカムレセプションで幕を開け、続くカンファレンスを通じて、出展者・貿易バイヤー・宝石起業者・ジュエリーデザイナーが交流・協業し実践的知見を得るダイナミックなプラットフォームとなることが見込まれている。参加費はUS\$500。

宝石の鑑定・鑑別 DGL DIAMOND GRADING LABORATORY ダイヤモンド・ジュエリー・ラボ

真珠のプロのための3つのセミナー 2024年からカリキュラム改訂よりわかりやすく、受講しやすくなりました

業界専門・実績39年 プロ撮影を初回特価で

EDGE エッジキャスト Cast 最高の铸造と即納を実現

オーロラ 業者向け WEB SHOP

DIASYNTH LAB 自動合成ダイヤモンド判定器